

## “現場主義” 中村校長の取材メモ

<なんで五・一五事件、二・二六事件は起きたのか？>

軍部の暴走、と言ってしまえば簡単だけど、実はこの暴走はそんなに単純な話じゃない。1931年の満州事変は“戦争の天才”と呼ばれた**石原莞爾**が綿密に計画して起こした、「軍事行動」だった。それに対して五・一五事件、二・二六事件は海軍、陸軍の青年将校が起こした「クーデター」なんだ。

彼らの多くは東北地方の出身。東北は1930年代、農作物の不作と世界恐慌の影響で「**昭和恐慌**」というめちゃくちゃ厳しい時代を迎える。**餓死者が続出し、女の子は身売りに出される**、そんな経験をこの青年将校達はしていたんだ。

「俺達がこんなに苦しんでいるのに、姉ちゃんが、妹が売られていかなければならなかったのに、、、**政治家は何もしてくれない!**」

それが彼らをクーデターへと動かしていった。

でも、結局彼らは「反逆者」として処刑されていった。

彼らのした事は確かに悪い事。でも、ただ「悪い!」と言いきれるモノでもない。

その背景にあるモノをちゃんと見ないと、真実はワカラナイ。それが歴史を学ぶ意味だと俺は思う。



東京溜池にある山王日枝神社



反乱軍の本拠地、山王ホテルは

